

金融電卓

形名 EL-K632
取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

操作例シートについて

各金融計算や基本計算の操作例、金融計算の計算式については、付属の操作例シートをご覧ください。

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書、操作例シートや本機に表示されている社名、団体名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

記憶内容保存のお願い

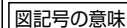
この製品は、電池が消耗したときや電池を交換したときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失します。また、使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。万一、お客様が記憶させた内容などが変化・消失してしまうことがあっても、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。





PRINTED IN CHINA
15DSC(TINSJA106EHZZ)
0GS9221780EHZZ

安全にお使いいただくために



以下の表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。



記号は、 記号は、 記号は、 記号は、 しなければならないことを表しています。

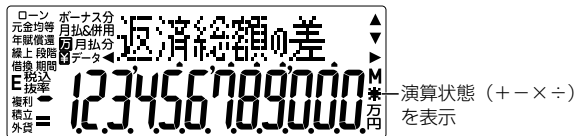
●電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。

- 電池のプラス「+」の向きを正しく入れる。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- 水や火の中に入れてたり、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

おねがい

- 日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。高温により、変形や故障の原因になります。
- 液晶表示部はガラスでできていますので、強く押さないでください。割れることがあります。
- 落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。大きな力加わり、壊れることがあります。
- 本体を開くときやご使用中は、ヒンジ部（つなぎ目）に無理な力が加わらないようにしてください。本体をそらしたりして無理な力が加わると、故障や破損の原因となります。
- お手入れに揮発性の液体（シンナー、ベンジンなど）や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。変質したり色が変わったりすることがあります。かたい布などを使用すると傷がつくことがあります。
- この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

表示の見かた









- 円** (万) キーを押したときに表示されます (金融計算のとき)。金融計算での金額表示が万円単位になります。
- 金融メモリ** キーを押したときに表示されます。続きの操作で金融メモリの指定や登録を行います。
- ▲ 前 / 次の入力や結果の表示があるときに表示されます。
- ◀▶ () キーを押して別項目の選択が可能なときに表示されます。
- E** エラーが発生したときに表示されます。
 - 数値が負のとき表示数値の左側に表示されます。
- =** \square や $\%$ キーを押して答えを求めたときなどに表示されます。
- + - × ÷** \square , \square , \square , \square キーを押したとき表示されます。
- ▲ 数字を入力して選択する項目を示します。

- 「ローン」など上記以外のシンボルについては、操作例を参照ください。
- 上記の液晶表示部イラストは説明用です。実際にはすべてのシンボルが同時に表示されることはありません。

キーの表記について

取扱説明書 / 操作例では、次のように表記します。

 税込	[税込]または[税率設定]	 金融メモリ	[金融メモリ]
 固定金利ボーナスなし	[固定金利ボーナスなし]	 M7	[7]または[M7]
 繰上返済借換	[繰上返済/借換]	 呼出	[▲]または[呼出]

- 緑色で表記されている機能を指定するときは、[金融メモリ]を押してから (画面に \square マークが表示されます) 目的のキーを押してください。
- 操作例で入力する金額や利率などは、[] で囲まずに数字を表記しています。
- 文中にて見出しを参照するときは「 \square 」で囲んで表記します。また、画面表示や機能名などを見やすくするために「 \square 」や「 \square 」で囲んで表記することもあります。

初めてお使いになるときは

電源の入れかた / 切りかた

[入]を押すと電源が入り、[切]を押すと電源が切れます。

- 約7分間キー操作がないと電源が切れます。(自動節電機能)
- 電源が切れると、入力途中の数値などの内容はクリアされます。
- 電源が切れても、メモリーに記憶した内容や、税率などの設定した内容は保持されています。

金融計算の種類と選びかた

この製品では次のキーを押して金融計算の種類を指定し、金融計算を始めます。

..... 借りる

- 元金均等計算を除き、元利均等の計算になります。
- 段階金利の段数(2段階または3段階)や期間、期日の指定(年月または回数)などの設定は、本書裏面の「設定メニュー」を参照ください。

固定金利 ボーナスなし 固定金利で月々払いのみの計算ができます。返済額計算・融資額計算・利率計算・月数計算から求めたい計算を選択します。

固定金利 ボーナス併用 固定金利でボーナス併用払いの計算ができます。返済額計算・融資額計算・月数計算から求めたい計算を選択します。

段階金利 ボーナスなし 段階金利で月々払いのみの計算ができます。2段階金利のときは、返済額計算・融資額計算・利率計算・月数計算から求めたい計算を選択します。3段階金利のときは、返済額計算・融資額計算から求めたい計算を選択します。

段階金利 ボーナス併用 段階金利でボーナス併用払いの計算ができます。2段階金利のときは、返済額計算・融資額計算・月数計算から求めたい計算を選択します。3段階金利のときは、返済額計算・融資額計算から求めたい計算を選択します。

元金均等 固定金利 元金均等の計算ができます。固定金利のみです。月々払いかボーナス併用払いか選択後、返済額計算・月数計算から求めたい計算を選択します。ボーナス併用払いのときは返済額計算のみとなります。返済額計算では、設定に従って返済額を計算したい年月または回数を入力します。

繰上返済 借換 繰上返済(前倒して返済すること)や借換(現在のローンを新たなローンに借り換えること)の計算ができます。借換を選択するときはこのキーを2回押します。期間短縮か金額軽減か(繰上返済のときのみ)、固定金利か段階金利か、月々払いかボーナス併用払いか、を選択後、必要な項目を入力して計算します。

年賦償還

ローン返済の明細(月々払いの金額など)の計算ができます。
固定金利か段階金利か、月々払いかボーナス併用払いか、を選択後、
必要な項目を入力して計算します。

貯める

複利商品 積立預金


複利商品(定期預金など)や積立預金の計算ができます。複利計算になります。積立預金計算をするときはこのキーを2回押します。
複利商品のときは、元利合計計算・元金計算・利率計算・期間計算から
求めたい計算を選択します。積立預金のときは、受取額計算・積立額
計算・利率計算・月数計算から求めたい計算を選択します。


外貨預金

外貨預金の計算ができます。単利計算になります。
受取額計算・預入時レート計算・満期時レート計算・預金額計算・利率
計算・月数計算から求めたい計算を選択します。

- 各金融計算の入力項目などは本書裏面の「金融計算の項目一覧」を、操作例については操作例シートを参照ください。
- 金融計算の種類によっては、「設定メニュー」の設定内容を変更することが必要です。「設定メニュー」については、本書裏面の「設定メニュー」を参照ください。

万円単位の金額表示

この製品の初期設定では、金融計算の金額入力や計算結果の金額表示は円単位(例 100,000 円)となっていますが、金融計算のときに[万表示]を押すと、画面に  シンボルが表示され「万表示」になります。

- 「万表示」では、金額の入力や表示が万円単位(例 10 万円)になり、千円以下は小数表示となります(例 1.2345 万円)。
- 「万表示」は金融計算で有効です。金融計算の種類が変わっても電源が切れても保持されます。
- 「万表示」を解除するときは、金融計算のときに[万表示]を押して  シンボルの表示を消してください。

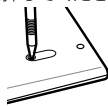
基本計算機能

四則演算や税計算などの計算ができます。詳しくは、本書裏面の「基本計算機能」と、操作例シートの操作例を参照ください。

初期化・異常が発生したときの処理 (リセット操作)

この製品を初期化する(メモリーに記憶した内容を消去し、購入したときの設定内容に戻す)ときや、強度の外来ノイズ・ショックを受けた場合などすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生したときは、本体裏面のリセットスイッチを押してください。なお、リセット操作により記憶内容はすべて消去されます。

- リセットスイッチを押すときは、ボールペンなどを使用してください。
針やシャープペンシルなど先のとがっているものや折れやすいものは使用しないでください。



金融計算の基本操作


基本操作は次のような流れになります。

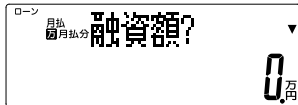
- 金融計算の種類を選択→求めたい計算を選択*1→入力項目への数値入力→計算結果の表示
*1 求めたい計算を選択後、「月払」が「ボーナス併用」かなどを選択する場合があります。


固定金利で月々払いのときのローン計算を例に、基本操作を説明します。

【例】

融資額2000万円、年利2.5%で20年ローンを組んだ場合の、月々の返済額と返済総額を計算する。

- 1.[入]を押して、電源を入れます。
- 2.[固定金利ボーナスなし]を押して、金融計算の種類を選びます。
 - 「固定・月払」が一時表示された後、「<返済額計算>」が表示されます。
- 3.[入力/決定]を押すと、「融資額?」の入力画面が表示されます。
 - 入力待ちの画面では「?」が表示されます。
- 4.この例では[万表示]を押して、万円単位での入力ができるようにします。
画面に  シンボルが表示され、画面右下に「万」が表示されます。
- 5.2000 [入力/決定]と融資額を入力します。
- 6.2.5 [入力/決定]と利率(年利)を入力します。
- 7.240[入力/決定]と月数を入力します。
 - 20年ですので、240(カ月)を入力します。20[×]12[=]と入力することもできます。
 - この入力で入力項目はすべて入力完了となります。
- 8.月々の返済額(10,598万円)が表示されます。
- 9.[入力/決定]を押すと、返済総額(25435.2万円)が表示されます。



- 月々の返済額は105,980円、20年ローンの返済総額は25,435,200円です。
- 返済総額が表示されているときに[入力/決定]を押すと、「融資額?」の表示に戻ります。
前回入力した数値(この例では「2000万円」)が表示されます。
- [▲][▼]を押して各項目の数値を確認できます。
- 融資額、返済額や返済総額など、万円単位で表示されているときに[万表示]を押すと、円単位の表示に変わります。
- [入力/決定]を押す前に数値を入力し直すときは[C-C]Eで数値をクリアして入力ください。[入力/決定]を押した後に数値を入力し直すときは[▲][▼]を押して目的の入力項目を表示し[C-C]Eで数値をクリアして入力ください。
- もし画面に  シンボルが表示されたときは、[C-C]Eを押してから再入力してください。



金融計算のご注意

- この製品は一般的なローン計算、複利計算、積立預金計算、外貨預金計算に関するシミュレーション計算ができます。
- この製品は一般的なローン計算、複利計算、単利計算にもとついて計算します。なお、金融機関により端数処理（1円に満たない金額の扱い）や計算方法などが異なりますので、計算結果と実務上の値（実際の受取額など）が異なる場合があります。計算結果は目安としてご利用ください。また、端数処理の設定（切り上げ・四捨五入・切り捨て）により、誤差が発生することがあります。
- 利率（金利）の計算は、たいへん複雑な計算をくり返し実行するため、ときには結果が求まるまでに長い時間がかかることがあります。もし、誤って利率計算を実行させた場合など、計算を中止させたいときは **[入]** キーを押してください。
- 利率計算で求めることができる利率は年利です。
- この製品は、内部での演算を最大14桁まで行い、表示の際に13桁目を切り捨てて12桁以下で表示します。ただし金融計算の端数処理対象項目については設定に従います。
- 1兆円以上は入力および計算できません。

金融電卓の使用により生じた損害・逸失利益、および第三者からの請求につきましては、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ローン計算（固定金利、段階金利、元金均等、繰上返済、借換、年賦償還）

- 計算結果は端数処理の設定（切り上げ・四捨五入・切り捨て）に従って表示されますので、例えば、年賦償還で利息部分と元金部分との合計が返済額と一致しない、などの誤差が発生することがあります。
- 元金均等では固定金利のみ計算できます。
- ボーナス併用払いでは、ボーナス分は年2回(6カ月ごと)の支払いに固定されています。
- 元金均等、繰上返済、借換、年賦償還では、ボーナス月を1月と7月などと設定できます。本書裏面の「設定メニュー」を参照ください。
- 繰上返済、借換、年賦償還はすべて元利均等になります。
- 段階金利の段階数の設定は2段階と3段階に設定できます。設定の変更については本書裏面の「設定メニュー」を参照ください。

初回ボーナスまでの月数について

ボーナス併用払いにて、返済額を計算したい時期を「回数」（何回目の返済か）で指定するときは、その指定した「回数」がボーナス月であるかどうかを判断するために、初回返済月から初回ボーナス月までの月数（初回返済月を含む）を入力する必要があります。

例えば、初回返済月が2015年10月のとき、次のようになります。

- ボーナス月が4月と10月の場合、「初回ボーナスまで」の月数を「1」と入力
- ボーナス月が1月と7月の場合、「初回ボーナスまで」の月数を「4」と入力

複利計算

- 複利商品の計算式は複利計算で行っています。単利式の計算には対応していません。
- 複利商品（定期預金など）の「利率」と「期間」の入力は、単位を合わせて入力してください。例えば、利率が1年複利のときは、「利率」は年利で「期間」は年数で入力します。利率が半年複利のときは、「利率」は半年分の利率（年利÷2）で「期間」は半年単位の数で入力します。

積立預金計算

- 積立預金の計算式は複利計算で行っています。単利式の積立預金計算には対応していません。
- 積立預金計算の利率は年利で入力してください。また年1回の複利計算となります。

外貨預金計算

- 外貨預金の計算式は単利計算で行っています。複利式の外貨預金計算には対応していません。
- 外貨預金の年日数は、1年間の基準日数として「360」または「365」を選びます。この日数は年利の日割り計算に使用します。例えば、ドル建ての外貨預金では一般的には「360」を選びます。ただし、金融機関や金融商品により変わりますので、この製品で求めた計算結果（受取額、損益分岐点など）は目安としてご利用ください。

入力についての注意

- 実際のローン返済や預金では融資額、返済期間、ボーナス返済の割合、預金単位などさまざまな規定がありますが、この製品では条件外の値も入力できますのでご注意ください。
- 金融計算は複雑な計算を組み合わせ、くり返し計算を行うため、入力値によっては誤差が累積して演算精度が低くなる場合があります。
- 金融計算では各項目とも正数を入力して計算します。0および負数を入力した計算はできません。
- 金融計算で入力する利率は、複利計算を除き、年利を入力してください。複利計算の利率については、複利計算の注意書きを参照ください。
- 金融計算では **[税込]** キーや **[税抜]** キーは使えません。
- 金融計算では、新たに入力するまでは、前回の入力内容が表示されます。

源泉分離課税

- この製品は複利・積立・外貨計算時の利息に発生する源泉分離課税以外の税金は考慮されません。
- 源泉分離課税は、利息発生時に課税されるものと、満期時に課税されるものがありますが、この製品では満期時に課税されるように計算します。

アフターサービスについて

保証について

- この製品には取扱説明書に保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は…
ご要望により有料修理または同等品と有料交換いたします。

修理を依頼されるときは

- 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持ち込み** のうえ、修理をお申しつけいただくか、「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。ご自分では修理をしないでください。
- アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、お客様ご相談窓口へお申しつけください。

シャープ電卓ホームページのご案内

ホームページでも商品をご紹介します。

<http://www.sharp.co.jp/calc/>

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、
(SHARP | CLUB) でご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや携帯電話はこちらから



シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号
通信システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地
モバイルソリューション事業部

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**下記窓口**にお問い合わせください。ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/>

■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。



使用方法のご相談など【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル



0120-303-909

携帯電話からは、ナビダイヤル



0570-550-334

※おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く)

●月曜～土曜:9:00～18:00

●日曜・祝日:9:00～17:00

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
06-6792-1583	06-6792-5993
〒581-8585	大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

※お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。
※所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。
(2015年5月現在)

金融計算の項目一覧

固定金利・段階金利・元金均等

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
固定金利 ボーナスなし	月払分 融資額	借り入れた金額	1
	利率	金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
	月払分 返済額	毎月の返済額	
	返済総額	返済総額(利息含む)	
固定金利 ボーナス併用	月払分 融資額	毎月返済分の借り入れた金額	
	ボーナス分 融資額	ボーナス時返済分の借り入れた金額	
	利率	金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
	ボーナス回数	返済期間中のボーナス回数	
段階金利 ボーナスなし	月払分 返済額	毎月の返済額	
	ボーナス分 返済額	ボーナス時の返済額	
	返済総額	返済総額(利息含む)	
	月払分 融資額	借り入れた金額	
	利率 1~10年目	10年目までの金利(年利)	
段階金利 ボーナス併用	利率 11~年目	11年目からの金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
	月払分 返済額 1~10年目	10年目までの毎月の返済額	
	月払分 返済額 11~年目	11年目からの毎月の返済額	
	返済総額	返済総額(利息含む)	
段階金利 ボーナス併用	月払分 融資額	毎月返済分の借り入れた金額	2
	ボーナス分 融資額	ボーナス時返済分の借り入れた金額	
	利率 1~10年目	10年目までの金利(年利)	
	利率 11~年目	11年目からの金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
段階金利 ボーナス併用	ボーナス回数	返済期間中のボーナス回数	
	月払分 返済額 1~10年目	10年目までの毎月の返済額	
	ボーナス分 返済額 1~10年目	10年目までのボーナス時の返済額	
	月払分 返済額 11~年目	11年目からの毎月の返済額	
	ボーナス分 返済額 11~年目	11年目からのボーナス時の返済額	
返済総額	返済総額(利息含む)		

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
元金均等 固定金利 月払 ボーナスなし のとき	月払分 融資額	借り入れた金額	3
	利率	金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
	初回返済年月	初めての返済年月	
	算出年月	返済額を計算したい年月	
	何回目返済	返済額を計算したい回数(何回目)	
	月払分 返済額(元金)	毎月返済額の元金部分	
	月払分 返済額	指定した月の返済額	
	返済総額	返済総額(利息含む)	
	利息分	返済総額の利息部分	
元金均等 固定金利 ボーナス併用 のとき	月払分 融資額	毎月返済分の借り入れた金額	3
	ボーナス分 融資額	ボーナス時返済分の借り入れた金額	
	利率	金利(年利)	
	月数	返済にかかる月数(返済期間)	
	初回返済年月	初めての返済年月	
	算出年月	返済額を計算したい年月	
	何回目返済	返済額を計算したい回数(何回目)	
	初回ボーナスまで	初回返済月からボーナス月までの月数	
	月払分 返済額	指定した月の返済額	
	ボーナス分 & 月払分 返済額	指定した月の返済額(指定した月がボーナス月のとき)	
返済総額	返済総額(利息含む)		
利息分	返済総額の利息部分		

繰上返済・借換・年賦償還

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
繰上返済 借換 繰上返済 期間短縮型	初回返済年月	初めての返済年月(現在のローン)	4
	算出年月	繰上返済をした年月	
	何回目返済	繰上返済をした回数(何回目)	
	算出前残高	繰上返済をする直前のローン残高	
	繰上返済予定額	繰上返済したい金額	
	繰上額 - 一回	実際に繰上返済をする金額 (一回:短縮される返済回数)*3	
	月払分 繰上返済額	実際に繰上返済をする金額(毎月返済分)	
	ボーナス分 繰上返済額	実際に繰上返済をする金額 (ボーナス時返済分)	
	利息軽減額	繰上返済で軽減される利息の総額	
	繰上返済後残高	繰上返済後の残高	

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
繰上返済 借換	月払分 繰上返済額	繰上返済したい金額 (毎月返済分)	5
	ボーナス分 繰上返済額	繰上返済したい金額 (ボーナス時返済分)	
	月払分 新返済額	繰上返済後の毎月の返済額	
	月払分 軽減額	繰上返済後の毎月の軽減額	
	ボーナス分 新返済額	繰上返済後のボーナス時の返済額	
	ボーナス分 軽減額	繰上返済後のボーナス時の軽減額	
	月払分 新返済額 1～10年目	繰上返済後の毎月の返済額 (10年目まで)	
	月払分 軽減額 1～10年目	繰上返済後の毎月の軽減額 (10年目まで)	
	ボーナス分 新返済額 1～10年目	繰上返済後のボーナス時の返済額 (10年目まで)	
	ボーナス分 軽減額 1～10年目	繰上返済後のボーナス時の軽減額 (10年目まで)	
繰上返済 金額軽減型	月払分 新返済額 11～年目	繰上返済後の毎月の返済額 (11年目から)	6
	月払分 軽減額 11～年目	繰上返済後の毎月の軽減額 (11年目から)	
	ボーナス分 新返済額 11～年目	繰上返済後のボーナス時の返済額 (11年目から)	
	ボーナス分 軽減額 11～年目	繰上返済後のボーナス時の軽減額 (11年目から)	
	算出年月	借換をしたい年月	
	算出前残高	借換をする直前のローン残高	
	残返済総額	旧ローンでの残りの返済総額 (利息含む)	
	経過利息	ボーナス併用ローンを借り換えるとき、ボーナス時返済分の借入れ金額にかかる利息。借換直前のボーナス時返済から借換をする直前までの期間に発生する利息。*4	
	月払分 新融資額	新ローンで借入れた金額 (毎月返済分)	
	ボーナス分 新融資額	新ローンで借入れた金額 (ボーナス時返済分)	
繰上返済 借換 新ローン	新利率	新ローンの金利 (年利)	6
	新利率? 1～10年目	新ローンの10年目までの金利 (年利)	
	新利率? 11～年目	新ローンの11年目からの金利 (年利)	
	月数	新ローンの返済にかかる月数 (返済期間)	
	借換諸費用	借換手続きに必要な費用	
	月払分 新返済額	新ローンでの毎月の返済額	
	ボーナス分 新返済額	新ローンでのボーナス時の返済額	
	月払分 新返済額 1～10年目	新ローンでの毎月の返済額 (10年目まで)	
	ボーナス分 新返済額 1～10年目	新ローンでのボーナス時の返済額 (10年目まで)	
	月払分 新返済額 11～年目	新ローンでの毎月の返済額 (11年目から)	
ボーナス分 新返済額 11～年目	新ローンでのボーナス時の返済額 (11年目から)		
新返済総額	新ローンの返済総額 (利息含む)		
旧残返済総額	旧ローンでの残りの返済総額 (利息含む)		
返済総額の差	旧ローンと新ローンの返済総額の差 *5		
差額 (費用込)	借換諸費用と経過利息を含めた返済総額の差		

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
年賦償還	月払分 利息部分	指定した月の返済利息分	7
	ボーナス分 & 月払分 利息部分	指定した月がボーナス支払月のときの返済利息分 (月払い分とボーナス支払い分の合計)	
	月払分 元金部分	指定した月の返済元金分	
	ボーナス分 & 月払分 元金部分	指定した月がボーナス支払月のときの返済元金分 (月払い分とボーナス支払い分の合計)	
	返済後残高	指定した月 (回) に返済した後の残高	

複利商品 (複利計算) ・ 積立預金 ・ 外貨預金

キー表示	項目表示*1	説明	操作例番号*2
複利商品 積立預金 複利商品 (複利計算)	元金	複利計算の元となる金額 (定期預金などの預金額)	8
	利率	金利 *6	
	期間	満期までの期間 *6	
	元利合計	満期時の金額	
複利商品 積立預金 積立預金	元利合計 (税引)	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額	9
	積立額	毎月の積立額	
	利率	金利 (年利)	
	月数	預け入れ月数	
外貨預金	受取額	満期時の金額	10
	受取額 (税引)	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額	
	預入時レート	預け入れたときのレート (TTS*7)	
	満期時レート	受け取るとき (満期) のレート (TTB*7)	
	年日数 360 365	1年間の基準日数 *8	
	預金額	預金する金額	
	利率	利率 (年利) *8	
	月数	預け入れ月数 *9	
	受取額	満期時の金額	
	受取額 (税引)	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額	
損益分岐点	利益も損失も生じない満期時レート		

- *1 実際の画面表示では、計算項目や計算の種類を決めるため、最初に選択画面が表示されます。また求める計算項目によって、項目の表示内容や表示順が変わります。
 - 入力する項目では、項目名に?が付加されます。
 - 段階金利の項目表示は、初期設定値(段階数が2段)で表示しています。この製品では、段階数を3段まで設定でき、期間を変更することができます。
 - 元金均等ローンでは毎回の返済額が変わりますので、返済額を計算したい年月か回数を入力します。設定メニューにて年月か回数かいずれかを選びます。
 - 繰上返済、借換、年賦償還については、項目一覧の中で先に記載済みの表示項目と重複する項目は省略しています。ただし、同じ項目名であっても内容が異なるときは記載しています。
- *2 操作例シートの見出しの先頭に記載している番号です。操作例シートの同じ番号のところを参照ください。
- *3 期間短縮型のときは、入力した「繰上返済予定額」を元にして、実際に繰上返済をする金額と短縮される回数が表示されます。
[◀][▶]を押して、繰上返済額と短縮される回数のシミュレーションができます。
- *4 一般的に、ボーナス時の返済のときに、それまでの6カ月分の利息をまとめて支払うこととなります。
したがって、例えば、ボーナス支払月の設定が「6-12」のときで、借換をする最初の年月(算出年月)が「2017年4月」の場合は、1~3月分の3カ月分の経過利息が必要となります。
- *5 「旧返済総額」から「新返済総額」を引いた金額です。
- *6 「金融計算のご注意」の「複利計算」を参照ください。
- *7 TTS (Telegraphic Transfer Selling rate)は円を外貨に交換するときのレートです。
TTB (Telegraphic Transfer Buying rate)は外貨を円に交換するときのレートです。
- *8 「金融計算のご注意」の「外貨預金計算」を参照ください。
- *9 外貨預金計算では、1カ月を30日として計算しています。

各項目の入力範囲

金融計算の各項目の入力/計算範囲は次のとおりです。

項目表示の種類	入力/計算範囲
金額	$0 < X \leq 99999999999999999999^*$
利率	$0.001 \leq X \leq 200$
回数	$1 \leq X \leq 1200$ (整数のみ)
月数	$1 \leq X \leq 1200$ (整数のみ)
年月	$190101 \leq X \leq 209912$

*「万表示」のときは、 $0 < X \leq 9999999999$ になります。

ただし、次の項目のみ下記の入力/計算範囲になります。

- 初回ボーナスまで： $1 \leq X \leq 6$ (整数のみ) ● 期間 (複利商品)： $0 < X \leq 99999999999999999999$
- 月数 (積立預金)： $1 \leq X \leq 99999999999999999999$
- 月数 (外貨預金)： $0 < X \leq 99999999999999999999$
- 預入時レート/満期時レート (外貨預金)： $0 < X \leq 99999999999999999999$

設定メニュー

表示画面の濃度を調整するときや、金融計算についての設定内容を確認/変更するときは[設定]を押して設定メニューを表示してください。

- 設定内容を確認したうえでご使用ください。設定メニューを表示し、[入力/決定]または[▲][▼]を押して、設定内容を確認してください。
- 設定内容を変更するときは、変更後[入力/決定]または[▲][▼]を押してください。
- 変更した内容を保存するには、[設定]を押すか、最後の設定項目(端数処理設定)まで進んで[入力/決定]を押してください。「設定しました!」と一時表示され、変更した設定が保存されます。
- 設定途中で[C:CE]を押して設定メニューを解除すると、それまで変更した設定は元に戻ります(表示画面の濃度調整は除きます)。
- 設定内容は電源が切れても保持されます。ただし、電池が消耗すると変化することがあります。
- 各設定項目の詳細は次のとおりです。

設定項目	項目表示	初期設定値	設定範囲(入力範囲)	説明
表示濃度	濃+…表示…-淡	-	-	[+][-]を押して見やすい濃さに調整してください。
源泉分離課税率	源泉分離課税率?	20.315	$0 < X \leq 99999999999999999999$	数値(%)を入力します。
利率段階数	金利? 2段 3段	2段	2段(2)、3段(3)	[◀]/[▶]または[2]/[3]を押して選択します。
利率1段階目の終了年	期間1? 1~xx年目	10	利率段階数が2のとき: 1~98 利率段階数が3のとき: 1~97	数値を入力します。
利率2段階目の終了年	期間2? 11~xx年目	15	[利率1段階目の終了年+1]~98	利率段階数が3のとき設定します。
端日数	端日数?	0	0~62	融資日から初回返済日までの日数です。
期日の入力方法設定	時期? 年月 回数	年月	年月(1)、回数(2)	[◀]/[▶]または[1]/[2]を押して選択します。
ボーナス月の設定	ボーナス支払月?	1-7	1-7、2-8、3-9、4-10、5-11、6-12	[◀]/[▶]を押して選択します。
金額表示の設定	金額? 円以上 全桁	円以上	円以上(1)、全桁(2)	[◀]/[▶]または[1]/[2]を押して選択します。「円以上」に設定すると、1円以下を端数処理して表示します。
端数処理設定	端数? ↑ 5/4 ↓	↓	↑(1)、5/4(2)、↓(3)	[◀]/[▶]または[1]/[2]/[3]を押して選択します。丸め処理の指定をします。 ↑: 切り上げ 5/4: 四捨五入 ↓: 切り捨て

各設定項目に関連する計算一覧

- 表示濃度: すべての計算
- 源泉分離課税率: 複利計算、積立預金計算、外貨預金計算
- 利率段階数: 段階金利のローン計算/繰上返済/借換/年賦償還
- 利率1段階目の終了年: 段階金利のローン計算/繰上返済/借換/年賦償還
- 利率2段階目の終了年: 段階金利のローン計算/繰上返済/借換/年賦償還
- 端日数: 借換、年賦償還 *1
- 期日の入力方法設定: ローン計算(元金均等)、繰上返済、借換、年賦償還
- ボーナス月の設定: ローン計算(元金均等)、繰上返済、借換、年賦償還
- 金額表示の設定: すべての金融計算
- 端数処理設定: すべての金融計算*2

*1 端日数の仕様については、操作例シートの「金融計算の計算式」を参照ください。

*2 表示金額(数値)桁の低位1桁目の処理方法を設定します。

例えば、計算結果の内部演算数値が「10000.456789012」のとき、四捨五入(5/4)の設定であれば、「10000円」(金額表示が円以上で、「万表示」ではないとき)と表示されます。

金融メモリー

この製品では、金融計算の入力値や計算結果を金融メモリー(金融計算用のメモリー)に登録(保存)することができます。登録した金融計算データは、呼び出して表示できます。

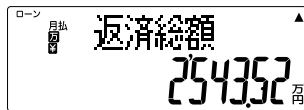
- 「M1」から「M10」まで10個の金融メモリーがあります。
- 1個のメモリーに、金融計算データ1件(選択した金融計算での一連の入力値や計算結果)を登録できます。
- 同じ種類の金融計算データとの金額の差を計算することもできます。「差の計算項目」を参照ください。(年賦償還の差は計算できません。)
- 登録するときに、データがすでに登録済みのメモリーを指定すると、上書き(書き換え)で登録されますのでご注意ください。

金融メモリーに登録する／呼び出す

【例1】

融資額2000万円、年利2.5%で20年ローンを組んだ場合の、月々の返済額と返済総額を計算し、金融メモリー「M1」に登録する。

1. 「金融計算の基本操作」の例の操作手順に従って、月々の返済額と返済総額を求めます。
2. [金融メモリー]を押します。
 - 画面に☒シンボルが表示されます。



3. [登録]を押します。「メモリーを指定してください」と表示されます。

- 計算結果の画面で[登録]を押してください。入力項目の画面(項目名に?)で[登録]を押しても登録できません。

4. [M1]([1]キー)を押します。

- 「登録しました!」と一時表示され、登録が完了します。
- 登録する金融計算の結果がエラーのとき(画面にEと表示されているときなど)は登録できません。

5. 返済総額の画面に戻ります。

【例2】

「M1」に登録した金融計算データを読み出す。

1. [金融メモリー]を押します。画面に☒シンボルが表示されます。
2. [呼出]を押します。「メモリーを指定してください」と表示されます。
3. 呼び出したいメモリーを押します。ここでは[M1]を押します。
4. 「データ」シンボルが表示され、「M1」に登録されている内容が先頭(融資額)から表示されます。
 - [▼]や[▲]を押して各項目の内容を確認できます。
 - [C-CE]を押すとデータの呼び出しが終了し、「0」の表示になります。
 - データが登録されていないメモリーの呼び出しはできません。

金融メモリーに登録したデータの削除

登録したデータを削除するときは、次の操作を行います。

1. [金融メモリー]を押します。画面に☒シンボルが表示されます。
2. [削除]を押します。「メモリーを指定してください」と表示されます。
3. 登録したデータを削除したいメモリー(例えば、[M1])を押します。
 - 削除するかどうかの確認画面が表示されます。
4. [1]を押します。
 - 「削除しました!」と一時表示され、削除が完了し、「0」の表示になります。
 - [1]以外のキーを押したときは、登録データは削除されず、「0」の表示になります。

差の計算

同じ種類の金融計算データとの差を計算することができます。

次の操作を行います。

1. 金融計算の結果表示画面や、金融メモリーを呼び出した画面を表示します。
2. [金融メモリー]を押します。画面に☒シンボルが表示されます。
3. [差]を押します。「メモリーを指定してください」と表示されます。
4. 差を計算したいメモリー(例えば、[M1])を押します。
 - メモリーにデータが登録されていない場合や、金融計算の種類が違うなど差が計算できない場合は、金融計算の結果表示画面や金融メモリーを呼び出した画面に戻ります。

5. 差が計算されて、差の結果表示画面が表示されます。

(例)



• 差を計算した対象を表示
(計算結果とメモリー「M1」の差)

• 差を計算した項目と差の値

• [C・CE]を押すと差の結果表示画面が終了し、「0」の表示になります。

差の計算項目

差の計算ができる金融計算の種類と、差を計算する項目は次のとおりです。

金融計算の種類	差を計算した項目の画面表示	説明
ローン計算 (固定金利/段階金利/元利均等)	返済総額の差	各ローンの返済総額の差
繰上返済	繰上回数の差	短縮される返済回数の差*1
	利息軽減額の差	繰上返済で軽減される利息の総額
	繰上後返済の差	繰上返済後の残高
借換	新返済総額の差	新ローンの返済総額の差
	差額 (費用込) の差	新旧ローン「借換諸費用と経過利息を含めた返済総額の差」の差
複利商品	元利合計の差	満期時の金額の差
	元利合計 (税引) の差*2	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額の差
積立預金	受取額の差	満期時の金額の差
	受取額 (税引) の差*2	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額の差
外貨預金	受取額の差	満期時の金額の差
	受取額 (税引) の差*2	満期時の金額から源泉分離課税分を引いた金額の差

*1 期間短縮型で、固定金利/段階金利、ボーナスなし/ボーナス併用の各条件が同じ場合のみ計算できます。

*2 計算の種類が元利合計計算や受取額計算のときに表示されます。

基本計算機能

この製品では、四則計算/税計算/メモリー計算などの基本的な計算ができます。操作例については、操作例シートの「基本計算の操作例」を参照ください。

- 計算を始める前に[C・CE]を2回押して、電卓機能内部の数値や計算命令をクリアしてください。[CA]を押すと電卓機能のメモリー(M)を含めた、電卓機能内部の数値や計算命令をクリアすることができます。
なお、金融メモリー(M1~M10)に記憶したデータはクリアされません。

税計算について

税計算の専用キー([税込]、[税抜])を使って、税込額、税抜額、税額を求めることができます。

- 税計算を行うときには、まず税率の設定/確認をします。ご使用前には、必ず税率を確認してください。
- 税率は、4桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は1桁と数えません。)
- 設定した税率は、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗([電池交換の時期]参照)などで設定した税率が変化することがあります。

エラーについて

次のようなときなどは、画面に「E」シンボルが表示されて、その後の計算ができなくなりますので、[C・CE]でエラーを解除してください。

- ① 除数が0の除算を行ったとき
- ② 整数部を13桁以上入力したとき
- ③ メモリー(電卓のMメモリー)の数値の整数部が12桁を超えたとき
- ④ 計算で求めた結果の整数部が12桁(「万表示」のときは8桁)を超えたとき
- ⑤ 計算の途中結果の整数部が12桁(「万表示」のときは8桁)を超えたとき
- ⑥ ローン計算や積立預金で、月数(またはボーナス回数)の入力値や計算結果が1ヵ月(または1回)未満のとき
- ⑦ 金融計算で入力した値や計算結果が0または負の値のとき
- ⑧ 金融計算の入力値や計算結果が範囲外のとき(例、利率が0.001~200の範囲外の場合)
- ⑨ 設定メニューの設定で入力範囲を超えたとき(例、端日数の設定で70と入力したとき)
- ⑩ 段階金利ローンで、月数(返済期間)の入力値や計算結果が、次の値のとき
2段階金利: "利率1段階目の終了年"+1ヵ月(1回)未満のとき
3段階金利: "利率2段階目の終了年"+1ヵ月(1回)未満のとき
- ⑪ 積立預金計算の入力値や計算結果で、積立額が受取額より大きいとき
- ⑫ ボーナス回数の入力値が、月数÷6を超えたとき

- ⑬ 基本計算機能で求めた計算結果の整数部が13～24桁になったときは概算になります。

[例] 987654320988[÷]0.444[×] E 2.22444666889×
 [C·CE] 2.22444666889×
 555[=] =1'234,56790123

兆の位(概数 1234兆5679億123万)

電池交換のしかた

電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電池交換の時期

次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 表示濃度を調整しても、正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 表示が消えているとき、[入]を押しても何も表示しない。

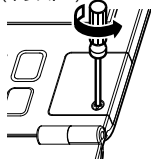
電池交換のしかた

使用する電池はアルカリボタン電池(LR1130または同等品)1個です。

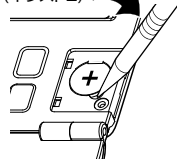
電池の交換は、電源を切って([切])、次の1～5の手順に従って行ってください。

1. ドライバーでネジを取り外し、電池ふたを外します。(イラスト1)
2. 古い電池をボールペンなどでひっかけて取り出します。(イラスト2)
3. 新しい電池を"+"面を上にして入れます。(イラスト3)
4. 電池ふたをもとどおり取り付け、ネジでとめます。
5. 本体裏面のリセットスイッチを押します。押すときはボールペンなどを使用してください。針やシャープペンシルなど先のとがっているものや折れやすいものは使用しないでください。

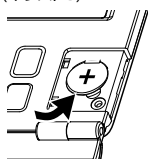
(イラスト1)



(イラスト2)



(イラスト3)



ご注意

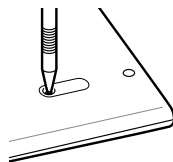
- 電池交換をすると、設定メニューの設定内容(源泉分離課税の税率、段階金利ローンの利率1段階目の終了年、端数処理設定など)、金融メモリーに登録していた金融データ、電卓のMメモリーなどが変化・消失します。重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。

電池を交換したら

裏面のリセットスイッチを押して、数値表示部に"0."が表示されることを確認してください。もし、"0."が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度、裏面のリセットスイッチを押して表示を確認してください。

[入][設定]と押して、設定メニューを表示し、源泉分離課税の税率などを再度設定し直してください。

設定メニューについては「設定メニュー」を参照ください。



製品仕様

形名	EL-K632
品名	金融電卓
電源	1.5V 3 (DC) :アルカリボタン電池 (LR1130または同等品) 1個 (本体内蔵)
使用温度	0℃～40℃
電池使用時間	約2年(1日当たり1時間使用した場合) ● 使用環境や使用方法により変動します。
自動節電機能*1	約7分
外形寸法	幅 114mm×奥行 81mm×厚さ 13.5mm (閉じた状態)
質量	約 115 g (電池含む)
付属品	電池1個 (本体内蔵)、取扱説明書*2、操作例シート*2

*1 自動節電機能(オートパワーオフ機能)

この製品は約7分間キー操作をしないと、電池の消耗を少なくするため、自動的に電源が切れます。使用状態により、数分の長短があります。新たに計算をするときは、[入]を押してください。メモリーや設定した税率などの内容は保持されています。

*2 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.